

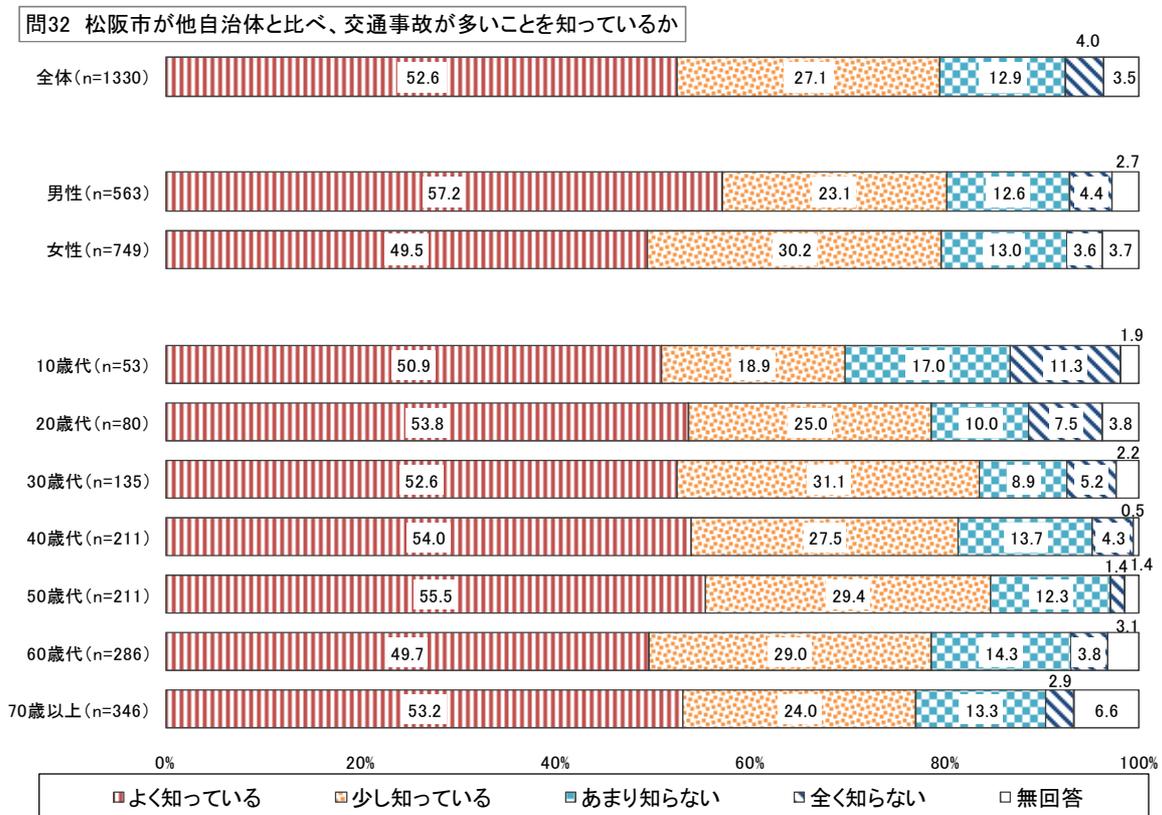
交通安全対策について

問 32 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(○は1つだけ)

「よく知っている」が52.6%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.1%、「あまり知らない」が12.9%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「よく知っている」の割合が高く、57.2%となっている。

年代別にみると、「よく知っている」がいずれの年代でも最も高くなっている。一方で、10歳代では「あまり知らない」「全く知らない」の合計の割合が他の年代よりも高く、28.3%となっている。

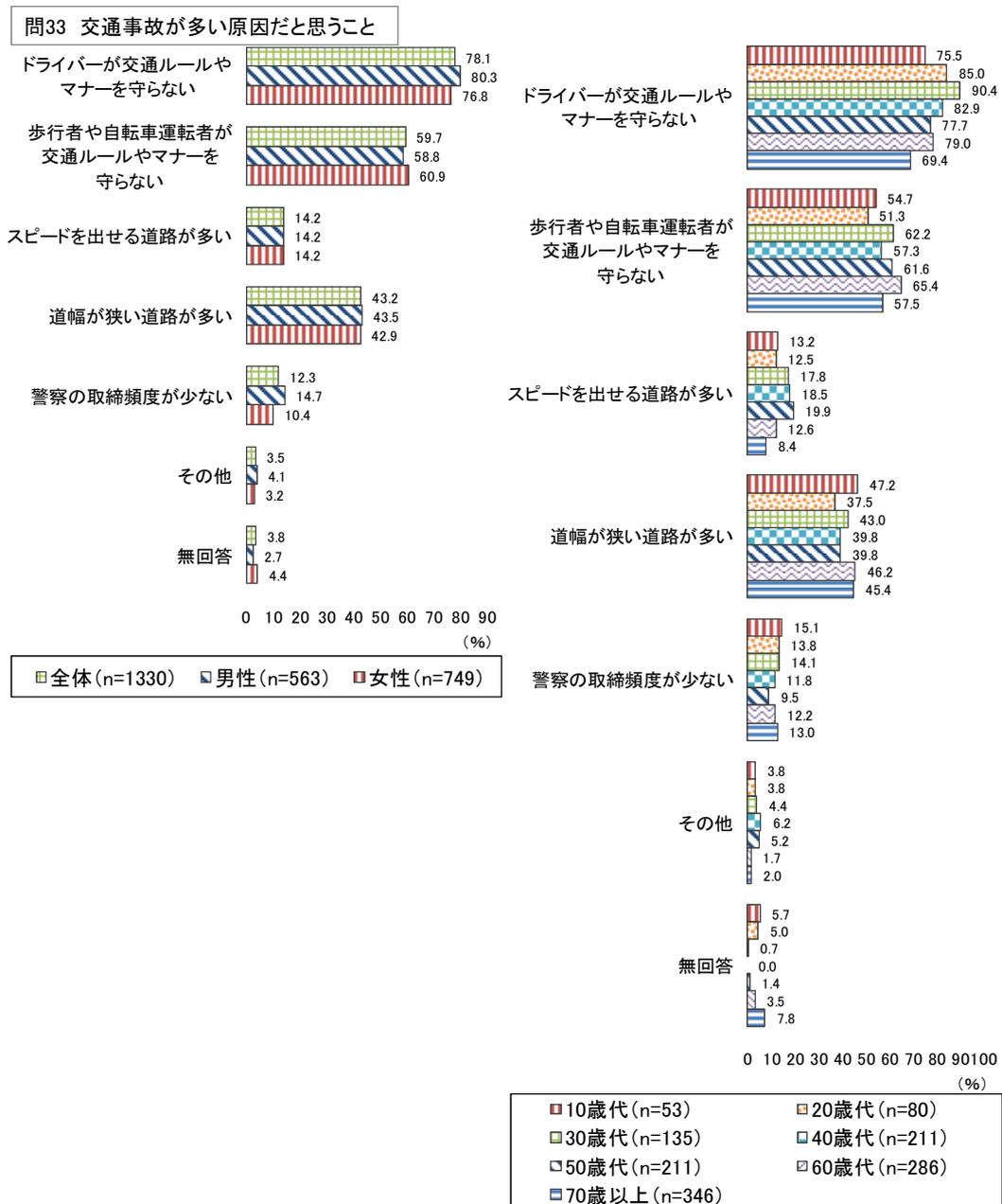


問 33 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。（〇はいくつでも）

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が78.1%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が59.7%、「道幅が狭い道路が多い」が43.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が高くなっているが、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

年代別にみると、20歳代から40歳代で「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が8割を超えて他の年代よりも高くなっている。

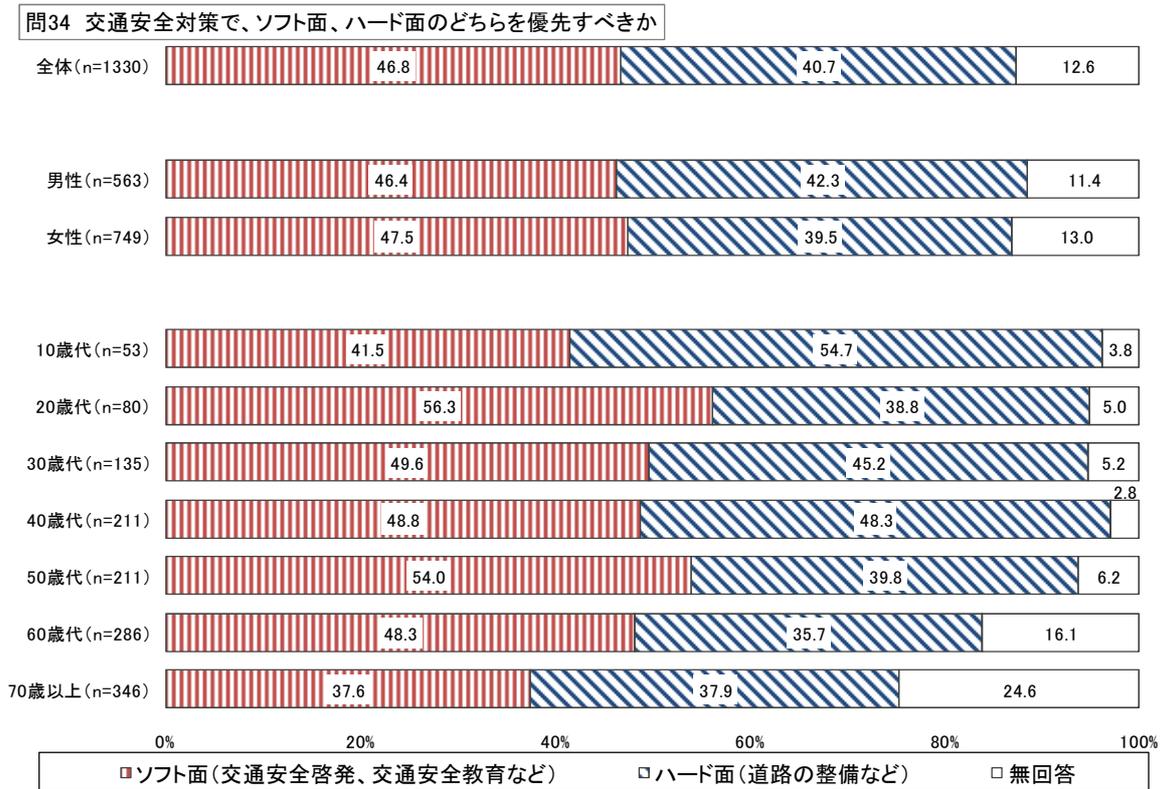


問34 松阪市の交通安全対策は、ソフト面、ハード面のどちらの対策を優先すべきだと思いますか。（〇は1つだけ）

「ソフト面（交通安全啓発、交通安全教育など）」が46.8%と最も高く、ついで「ハード面（道路の整備など）」が40.7%となっている。

性別にみると、「ハード面（道路の整備など）」が女性で男性よりもやや低く、39.5%となっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代、70歳以上を除く全ての年代で「ソフト面（交通安全啓発、交通安全教育など）」が高くなっている。



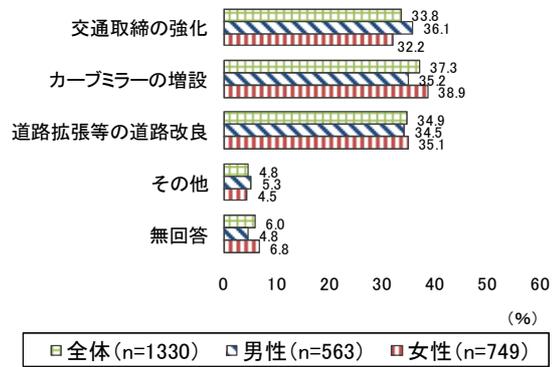
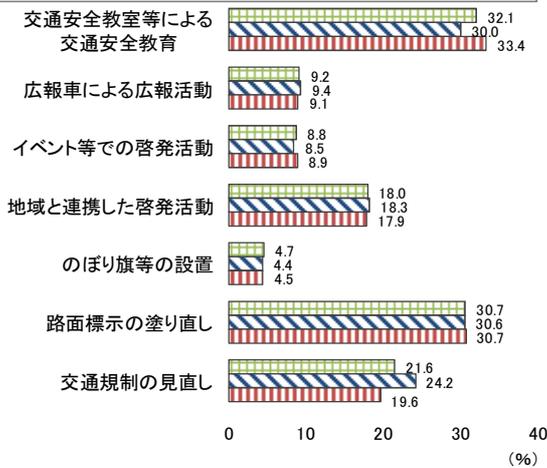
問35 交通事故を減少させるため、どのような活動が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「カーブミラーの増設」が37.3%と最も高く、ついで「道路拡張等の道路改良」が34.9%、「交通取締の強化」が33.8%となっている。

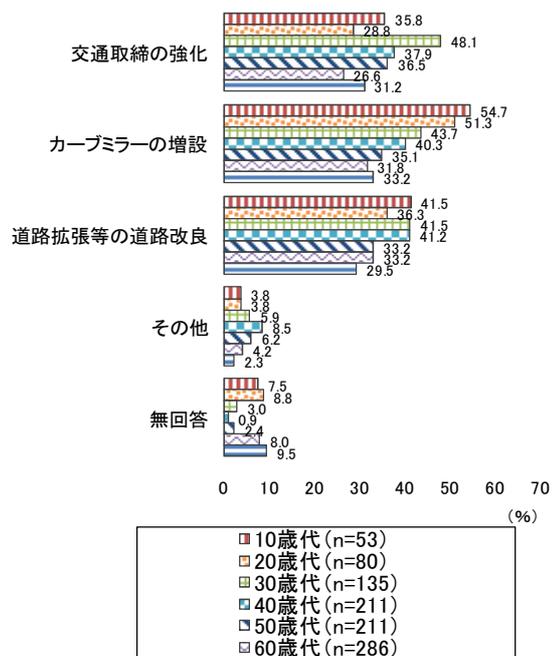
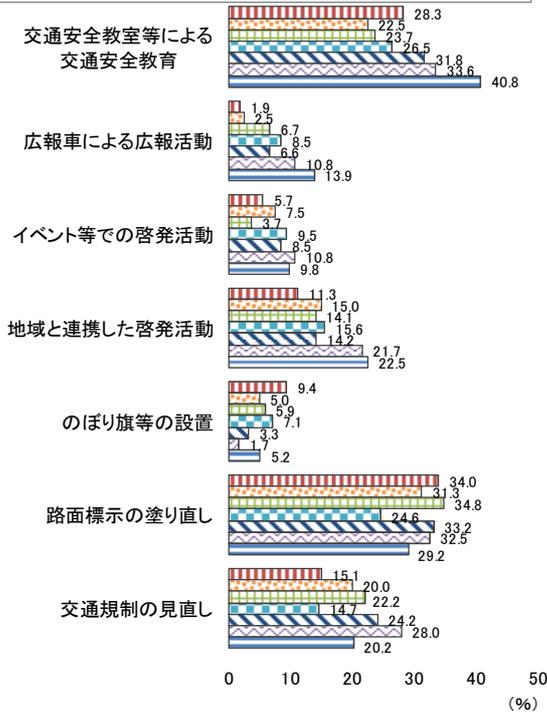
性別にみると、男性では「交通取締の強化」が最も高くなっており、女性よりも5ポイント程度高くなっている。女性では「カーブミラーの増設」が最も高くなっている。

年代別にみると、70歳以上では「交通安全教室等による交通安全教育」が他の年代よりも比較的高くなっており、40.8%となっている。10歳代、20歳代では「カーブミラーの増設」がいずれの年代でも50%以上で高くなっている。

問35 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



問35 交通事故を減少させるために必要だと思う活動

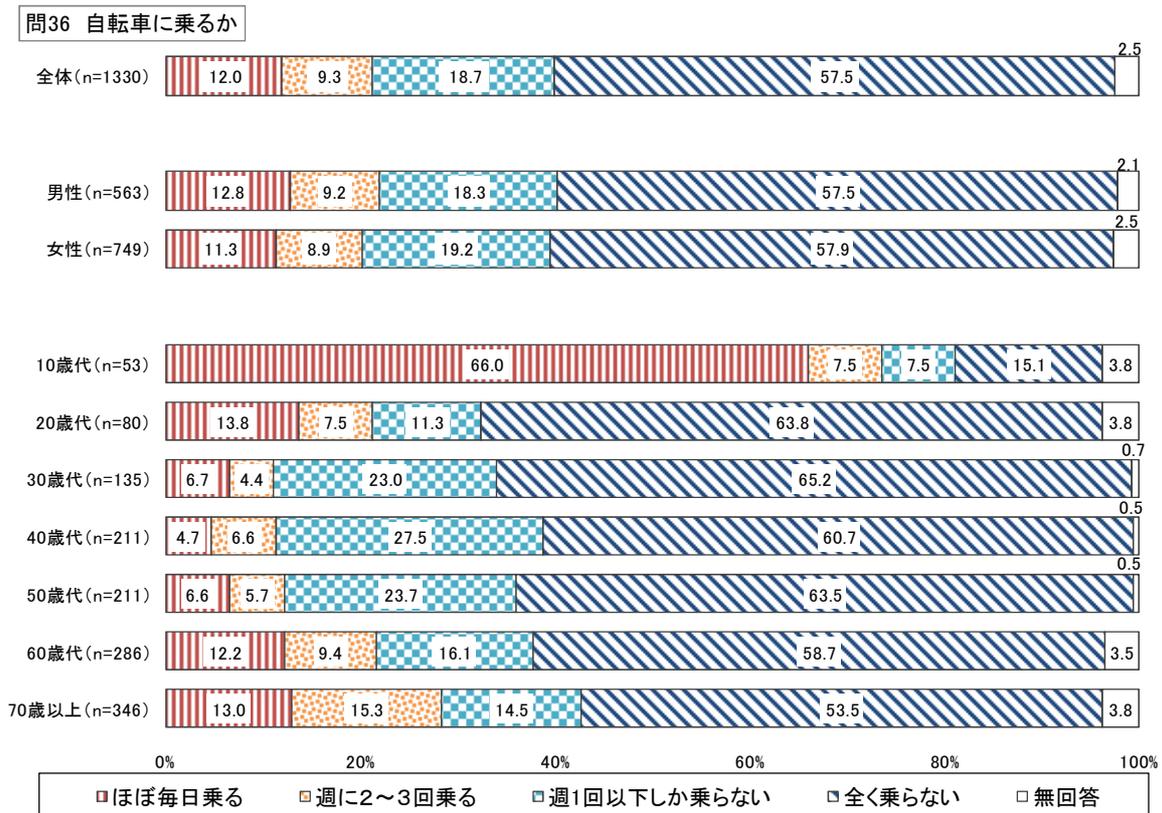


問 36 あなたは自転車に乗りますか。（〇は1つだけ）

「全く乗らない」が57.5%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が18.7%、「ほぼ毎日乗る」が12.0%となっている。

性別にみると、「ほぼ毎日乗る」が男性の方が女性よりも僅かに上回っているが、概ね男性・女性ともに同様の傾向を示しており、性別による大きな違いはみられない。

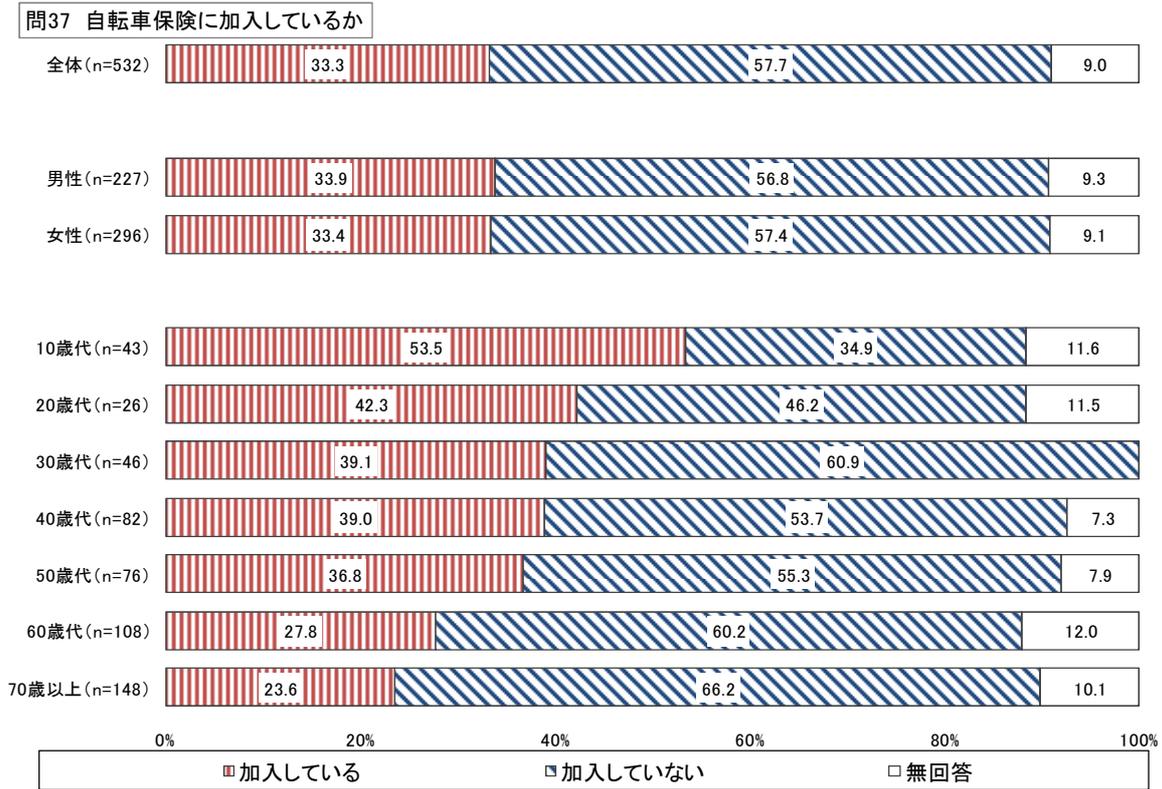
年代別にみると、10歳代では「ほぼ毎日乗る」が66.0%となっており、他の年代よりも50ポイント程度高くなっている。その他の年代では「全く乗らない」が5割以上を占めている。



問 37 あなたは現在自転車保険に加入していますか。(〇は1つだけ)

「加入していない」が57.7%と最も高く、ついで「加入している」が33.3%となっている。
性別にみると、男性・女性ともに「加入していない」が5割半ばで高くなっており、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代、20歳代の若い世代では「加入している」が4割以上と高くなって
いるが、60歳代、70歳以上になると「加入していない」が6割を超えている。



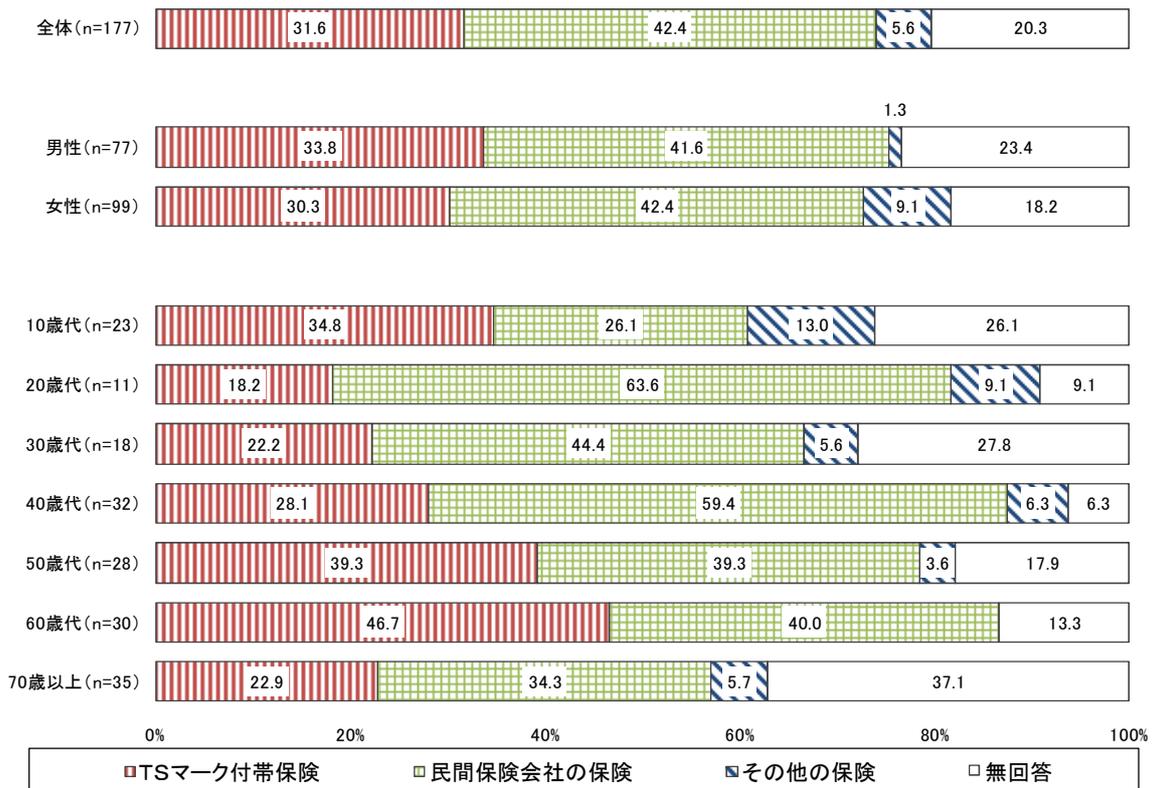
問 37-1 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が42.4%と最も高く、ついで「TSマーク付帯保険」が31.6%、「その他の保険」が5.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「民間保険会社の保険」が最も高く4割以上となっている。

年代別にみると、20歳代から60歳代にかけて年代が上がるにつれて、「TSマーク付帯保険」が高くなっており、60歳代では46.7%となっている。また、20歳代、40歳代では「民間保険会社の保険」がおよそ6割と他の年代よりも高くなっている。

問37-1 加入している保険の種類



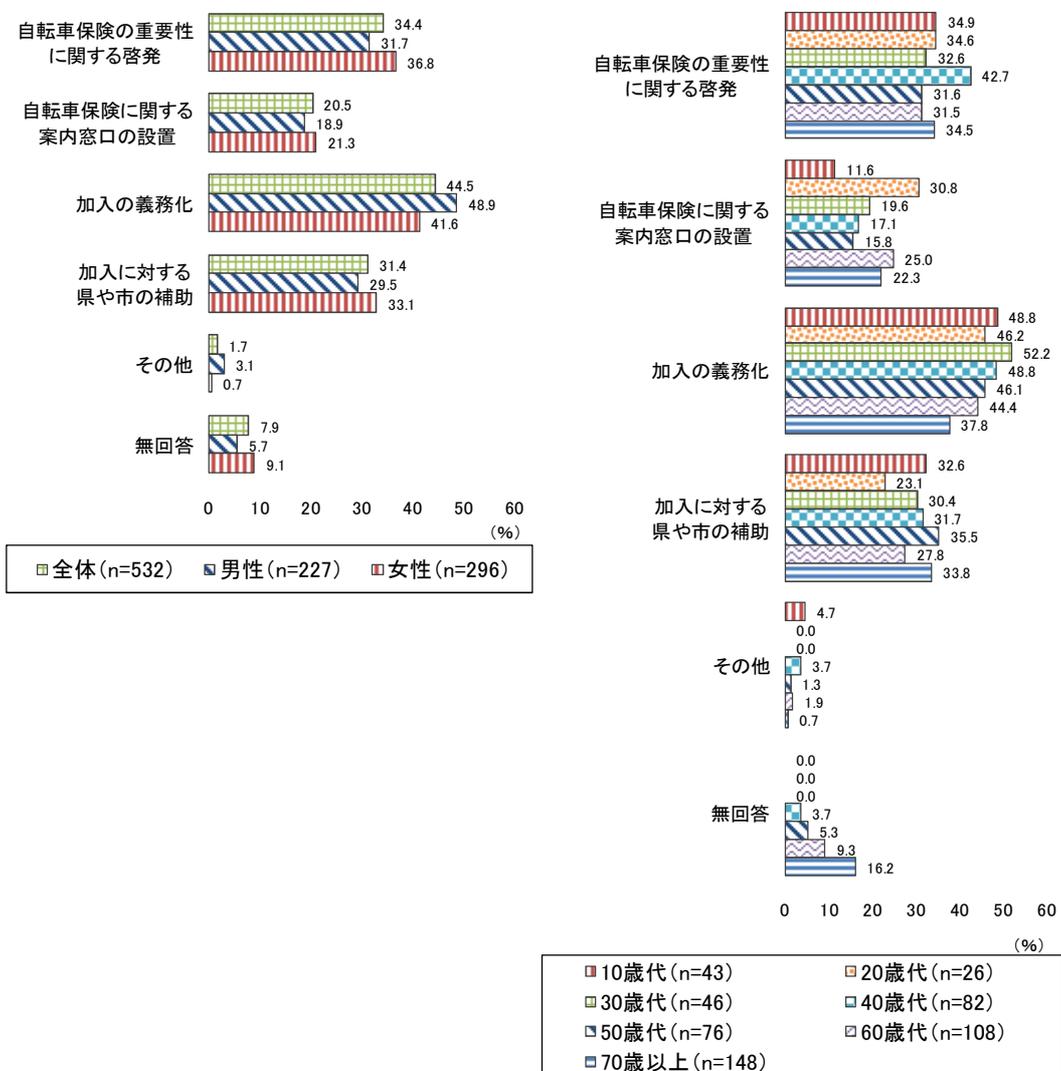
問38 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「加入の義務化」が44.5%と最も高く、ついで「自転車保険の重要性に関する啓発」が34.4%、「加入に対する県や市の補助」が31.4%となっている。

性別にみると、男性では「加入の義務化」が最も高く、女性よりも7ポイント程度高い48.9%となっている。女性では「自転車保険の重要性に関する啓発」としている割合が高く、男性を5ポイント程度上回って、36.8%となっている。

年代別にみると、「加入の義務化」では年代が上がるにつれて、その割合が減少傾向にある。また、40歳代では「自転車保険の重要性に関する啓発」が42.7%と他の年代よりも高くなっている。

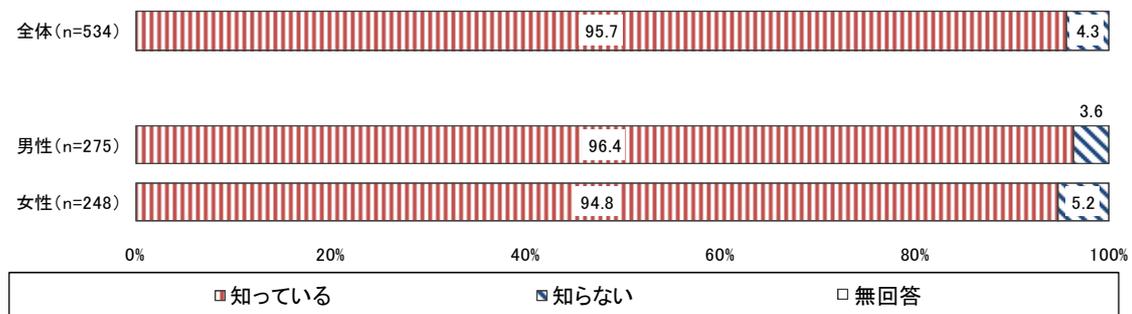
問38 自転車保険の加入促進のために必要だと思う施策



問 39 運転免許証自主返納制度を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が95.7%と最も高く、ついで「知らない」が4.3%となっている。
性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」が僅かに高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

問39 運転免許証自主返納制度を知っているか

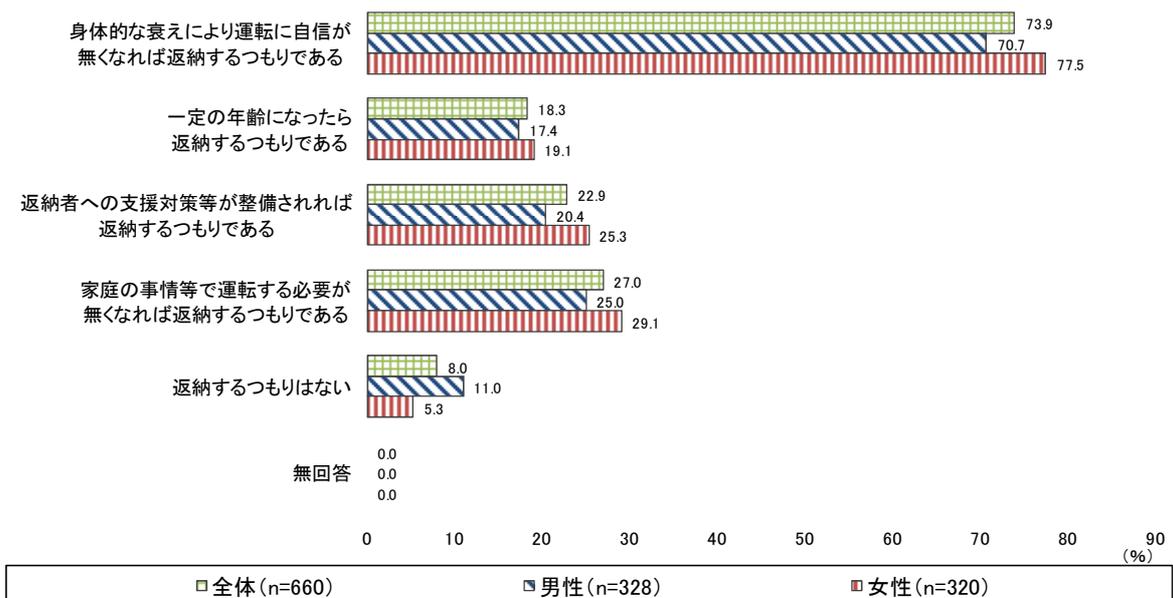


問 40 あなたは将来的に自主返納するつもりはありますか。(〇はいくつでも)

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が73.9%と最も高く、ついで「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が27.0%、「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が22.9%となっている。

性別にみると、「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」で女性が男性を7ポイント程度上回っている。その他についても返納するつもりがあるとしているのは、女性の方が高いが、「返納するつもりはない」では男性が11.0%で女性を上回っている。

問40 将来的に自主返納するつもりはあるか



問 41 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 69.7%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 50.2%、「公共交通機関の増発」が 41.9%となっている。

性別にみると、女性では「バスの運行範囲拡大」が高く 55.2%となっており、男性より 10 ポイント以上高くなっている。

問41 返納者に対してどのような支援が必要だと思うか

